

【現行】神戸市立大学法人 第3期 変更後	
1. 神戸市立大学法人の基本的な目標	
神戸市外国語大学(以下「大学」という。)は、創立以来70年以上に渡り、きめ細かい教育によって 世界と神戸を結ぶ優秀な人材の育成 に取り組み、また、神戸市立工業高等専門学校(以下「高専」という。)は、創立以来約60年に渡り、 ものづくり・まちづくりの現場で中核的な役割を果たす技術者の育成 に取り組み、ともに多数の優秀な卒業生を継続的に送り出してきた。	【背景】
一方で、 若年人口の減少、デジタル化を含む新たな技術革新及びグローバル化の進展 等、変化し続ける社会にあって、 高等教育機関は優秀な人材の育成に加え、さらなるイノベーションの創出、文理融合、地域への貢献、産学官の連携等によって、地域において多様化する社会ニーズに応えていく必要がある。	【課題】
神戸市立大学法人(以下「法人」という。)は、大学及び高専がそれぞれの歴史の中で培ってきた教育、研究、社会貢献、産学官連携等の個性や特色を発展させながら、 同一法人化のシナジー効果による魅力向上に取り組む。この文理融合による新たなステージにおいて、より迅速に社会の期待に応え、地域社会及び国際社会の持続可能な発展と、国内はもとより世界の高等教育及び学術研究の向上に寄与する。 新しい価値を創造し、時代に相応しい法人として、以下の基本的な目標を示す。	【目標】
(1)変化し続ける国際社会で活躍できる豊かな人間性と創造性を備えた 人材を育成する。	
(2)大学及び高専の知の蓄積を融合させ、イノベーションを創出し、教育研究の成果を社会に還元する。	
(3) 産業界、教育機関、地域、行政等との連携により、地域貢献を進める。	
法人は、こうした基本的な目標を踏まえたこの中期目標に基づき、 同一法人化のシナジー効果 を発揮し、 ガバナンスの強化 や知の拠点としての大学及び高専の存在感を向上させるとともに、同一法人化によって異なる分野の高等教育機関を運営することによる新たな教育、研究等の枠組みを探求していく。	
2. 中期目標の期間	
3. 設置する教育機関の目標	
神戸市外国語大学の教育研究等に関する目標	
第1 教育に関する事項 1 高次元のコミュニケーション能力の養成 2 教育プログラムの発展的充実 3 開かれた大学院教育 4 入試制度の再構築 5 学生への支援 6 留学支援制度の充実と国際交流の促進	
第2 研究に関する事項 1 外国学の国際的な研究拠点としての役割の充実 2 研究成果の教育への反映 3 国内外の研究機関との学術提携・学術交流	
第3 地域貢献・社会貢献に関する事項 1 神戸市の教育拠点としての役割の充実 2 国際都市神戸への貢献 3 市民の生涯学習支援 4 ボランティア活動の支援	
第4 大学ブランドの確立と情報発信に関する事項 1 ブランド構築に向けた組織的かつ長期的な取組 2 戦略的かつ効果的な魅力発信	
神戸市立工業高等専門学校の教育研究等に関する目標	
第1 教育に関する事項 1 教育内容及び技術者育成方針 2 教育の実施体制の強化 3 高度な専攻科教育 4 優秀な学生の確保 5 学生への支援 6 留学支援制度の充実と国際交流の促進	
第2 研究に関する事項 1 研究活動の充実 2 研究活動の実施体制の強化 3 国内外の研究機関との学術提携・学術交流	
第3 地域貢献・社会貢献に関する事項 1 産学官連携活動の充実 2 市民への学習支援 3 地域貢献活動の実施体制の強化	
第4 魅力や情報の発信に関する事項 1 神戸市のブランド向上への貢献 2 戦略的かつ効果的な魅力発信	
4. 大学と高等専門学校の連携に関する事項	
5. 業務運営の改善及び効率化に関する事項 (1)自律的・効率的な法人運営 (2)人事・組織	
6. 財務内容の改善に関する事項	
7. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する事項 (1)自己点検及び評価の適切な実施 (2)データの蓄積・活用と情報の公表	
8. その他業務運営に関する重要な事項 (1)施設設備の整備等 (2)安全・危機管理 (3)法令順守等	

【20240627時点】神戸市立大学法人 第4期	
第1 神戸市立大学法人の基本的な目標	
神戸市外国語大学(以下「大学」という。)は、 1949年の創立 から、きめ細かい教育によって 世界と神戸を結ぶ優秀な人材の育成 に、また、神戸市立工業高等専門学校(以下「高専」という。)は、 1963年の創立 から、 ものづくり・まちづくりの現場で中核的な役割を果たす技術者の育成 に取り組み、 2023年から同一法人として運営 を行っている。	【背景】
わが国では、 急速な少子化の進行 により、 2040年には18歳の将来推計人口は約82万人、2023年の約75%の規模にまで減少すると予測 されるなか、 産業や雇用の変化、東京一極集中、進学率の地域間格差 なども相まって、高等教育を取り巻く環境は、 これまでの中期目標策定時とは前提が大きく異なり、今後、極めて厳しい状況になると予想 される。	【課題】
そのため、地域を基盤とする人材育成機能の中核を担っていく高等教育機関としては、 未来を担う若者が新しい価値を創造し、「知の総和」を維持・向上させる役割を果たしていくことがこれまで以上に重要 になり、「 文理横断・文理融合教育 」の推進、成長分野を支える人材の育成、初等・中等教育との 接続強化、国際競争力の強化、社会との接続や連携の強化、地域との連携などに取り組んでいく必要がある。 以上のことから、法人においては、地域の高等教育機関としての果たすべき役割を十分に踏まえながら、 大学と高専の知を結集し、従来の枠組みにとらわれない新たな教育の枠組みを探求 しつつ、 産官学の連携・共創を強化し、あらゆるリソースを活用しながら、分野横断的領域の人材育成を通じた、イノベーションの創出 に向けて全力で取り組む。 こうした取組みを通じて、 地域課題解決に寄与する高等教育機関としての魅力を高めていくことで、地域社会の持続可能な発展と、国内はもとより世界の高等教育及び学術研究の向上に寄与 していく。	【目標】
第2 中期目標の期間	
第3 教育研究等の質の向上に関する目標	
第3-1 神戸市外国語大学に関する目標	
1 教育に関する目標 (1)教育内容及び教育の成果等に関する目標 (2)教育の実施体制等に関する目標 (3)学生への支援に関する目標 (4)入学選抜に関する目標	
2 研究に関する目標 (1)研究水準及び研究の成果等に関する目標 (2)研究の実施体制等に関する目標	
3 地域貢献・社会貢献に関する目標	
4 市との政策的な連携に関する目標	
第3-2 神戸市立工業高等専門学校に関する目標	
1 教育に関する目標 (1)教育内容及び教育の成果等に関する目標 (2)教育の実施体制等に関する目標 (3)学生への支援に関する目標 (4)入学選抜に関する目標	
2 研究に関する目標 (1)研究水準及び研究の成果等に関する目標 (2)研究の実施体制等に関する目標	
3 地域貢献・社会貢献に関する目標	
4 市との政策的な連携に関する目標	
第4 大学と高等専門学校の連携に関する目標 (1)教育の連携及び学生交流に関する目標 (2)教職員の連携に関する目標	
第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標 (1)業務運営に関する目標 (2)人事管理に関する目標	
第6 財務内容の改善に関する目標 (1)自己収入の増加及び経費の執行管理に関する目標	
第7 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標 (1)評価の充実に関する目標 (2)情報公開や情報発信等の推進に関する目標	
第8 その他業務運営に関する重要目標 (1)施設及び設備の整備、活用等に関する目標 (2)安全管理に関する目標 (3)法令順守等に関する目標	